

演題登録締め切りが

大至急  
です!

金曜日 (28日) まで

6月28日(金)の演題登録締め切りまで、あと2日。現在の演題数は、裏面のとおりに59演題。今週に入って、一気に27演題が寄せられました。

演題発表を予定されている方や、参加申し込みはしたが演題はまだの方も、とにかく演題登録をお急ぎください。

### 本人座談会と、地域共生の講演

今回の懇話会では、認知症当事者3名による座談会と、講演で認知症の方との地域共生の活動が報告されます。お話されるみなさんの横顔をご紹介します。



津田由起子さん(講演)

岡山県の三喜株式会社「ぶどうの家」代表、全国小規模居宅介護事業所連絡会理事。西日本豪雨災害で、倉敷市真備地区にある、ぶどうの家が水没。地域と手を取り合いながら、復興に向け現在も活動中。

樋口直美さん(本人座談会)

41歳のとき、うつ病として誤診されるも、50歳でレビー小体型認知症と診断。執筆活動を続け、著書『私の脳で起こったこと レビー小体型認知症からの復活』が日本医学ジャーナリスト協会賞書籍部門優秀賞受賞。千葉県在住。



竹内裕さん(本人座談会)

企業で営業一筋に奮闘。58歳で前頭側頭型認知症の診断を受ける。日本認知症ワーキンググループメンバー、NPO法人もちもちの木広報担当。広島県在住。



藤田和子さん(本人座談会)

看護師として働き、認知症の義母を介護ののち復職。45歳で若年性アルツハイマー病と診断され退職。「若年性認知症問題に取り組む会、クローバー」副理事長、認知症ワーキンググループ代表理事。